

【実録】

『脱サラするまでの1年半で

だーすーがやったこと全て』

～あなたの“知りたい”を、全て書きました～

こんにちは！だーすーです。

1979年生まれの41歳。

2021年4月。

わたしは17年間勤めていた会社を退職・脱サラして、本格的にネットビジネスを始めました。

このレポートには

41歳のアラフォー男が

脱サラするまでの1年半でやったことを全て書きました。

私は24歳の時、

大手自動車部品メーカーに就職し、

17年間同じ会社で働いてきました。

退職直前の年収は800万円を超えており、

日本の平均年収から見れば良い方だと思いま

す。

私生活では30歳で結婚し、

34歳の時に3,000万の新築一戸建てを購入しま

した。

子供はいませんが、住宅ローンは現在も2,600

万以上残っています。

そんな私が、

なぜ脱サラしようと思ったのか、

そして、

そのためにどんなことを考え、

どんなことをやってきたのか、

をまとめました。

<この記事を読むメリットがある人>

- ・ 脱サラを考えているが、具体的に何をしたらいいかわからない人**
- ・ 脱サラした人の話が聞きたい人**
- ・ 10年後の自分に希望が持てない人**

- ・今の働き方に疑問を持っている人
- ・職場の人間関係に疲れている人
- ・個人で稼ぎたい人
- ・ネットビジネスに興味がある人

そして、

**「このまま定年まで働いて、“いい人生だった”
と言えるだろうか？」**

**「もっと家族との時間を大切にしておけば良か
った」**

「私は何のために働いているんだろう？」

今、そんな思いを持っているあなたの助けになれば嬉しいです。

=====

【目次】

1.はじめに

- 1)すべてはここから始まった
- 2)1年半前の私

2.脱サラまでに実際にやったこと

3.やったことまとめ&

これから脱サラしたい人へ向けて

4.最後に

=====

1.はじめに

1)すべてはここから始まった（ここだけ物語風です）

（ここからは、です・ます調をやめています）

新型コロナが蔓延する少し前の2019年11月。

子供のいない私たち夫婦の結婚記念日は、
毎年旅行と決まっていた。

今年の行き先は栃木県的那須高原。

大体の行き先を二人で決めると、ホテル選びは
妻にお任せ。

私の要望はいつも一つだけ。

“バイキング形式の食事があるところ”である。

今年の宿泊先はローストビーフがおいしい、
いつもよりちょっと高級なホテルに決まった。

当日は、自宅から車で那須高原に向かった。

牧場に寄ったり、お土産をみたりしながらも、

私の頭の中には、常に“退職”の二文字が浮かんでいた。

私はこの旅行中に退職のことを妻に伝えようと
考えていた。

夕食の時間になった。

会場は明るさの抑えられた雰囲気の良いレストラン。

大きな窓ガラスには、ライトアップされた紅葉が鮮やかに映し出されていた。

お目当てのローストビーフは予想以上の柔らかさで、

「おいしいねえ〜」

「またおかわりしてくる！」

そんな会話が止まらないおいしさに、
二人とも大満足だった。

デザートを食べ終えた頃、妻に退職の話を切り出そうとしたが、

「そろそろ終了のお時間になります」

と食事終了の時間となり、その場では言い出すことができなかった。

部屋に戻ってからも楽しい雰囲気壊したくないという気持ちもあって、
結局、その日は言えずじまいで終わった。

翌朝、遅めの朝食をとって2人で部屋に戻った。
時計は午前9時を回り、チェックアウトまであと1時間。

私はレストランでもらったホットコーヒーを片手にベランダに出て、大きく深呼吸した。

そして、

覚悟を決めると同時に、コーヒーを一気に飲み干した。

(よし、言おう！)

ベランダから戻ると帰り支度をしている妻に声をかけた。

私：ちょっといいかな？

妻：ん、な～に？（荷物をまとめながら）

私：まだ確定ではないんだけど、俺、会社辞め

るかもしれないわ～

妻：ふーん。まあ、いいんじゃない？

私：え！？いいの？

妻：まあねえ、寝言でいつも会社のこととか言
ってたし。今も忙しそうだから

私：えっ！？そんな感じ？もうちょっと驚くか
とってたけど（汗

まあ、そういうことも想定しておいてよ

妻：わかったわ。それでさー、会社をやめるの
はいいんだけど、

『会社辞めて、どうすんの？生活とか？』

妻：私も働かなくちゃいけないのか、とか、

色々と考えないといけないじゃない？

私：・・・

えっ！？あー、確かに・・・

まあ、まだ決定したわけじゃないから。

その辺りはもうちょっとしっかき考えるわ

妻：よろしくね！

この妻の「会社辞めて、どうすんの？」の一言
で私は一気に冷静になった。

当時の私は課長2年目で心身ともに疲れのピーク
だった。

前向きに、何かをやりたい、というよりも、

「今の環境から逃げ出したい」

「楽になりたい」

という気持ちが強かった。

というよりも、むしろそれだけだった。

『一人じゃないんだ。

もっとちゃんと考えよう』

すべてはここから始まった。

2)1年半前の私（2019年11月時点）

この時の私の状況をまとめました。

あなたの状況と比較してもらえるように、

あえて詳細まで書きました。

なお、この部分は読み飛ばしていただいても、

その後の内容は問題なく読んでいただけます。

【私のこと】

- ・ 40歳、既婚（結婚10年目）、子ども無し、理系院卒（技術職）
 - ・ 24歳で大手自動車部品メーカー（連結売上7,000億規模）に入社
 - ・ 入社後の配属でグループ会社(※)へ出向、勤務16年目
- ※従業員400名規模の化学系工場
- ・ グループ会社の開発課長2年目。
部下は20代～50代の男女14名

【資産の部】

- ・ 持ち家あり（新築5年目、妻の両親と同居）
- ・ 住宅ローン約2,700万
- ・ 車2台所有（夫婦で各1台、5年前と6年前に新車で購入）
- ・ 現預金 約1,500万（主に住宅ローン繰り上げ返済用）
- ・ 個人年金約400万（夫婦2人分、いざとなったら現金化可能）
- ・ 株式投資約230万※（会社の持株会＋私の個人所有分）

※のちに売却して自己投資資金に流用

【収入の部】 約600万円が我が家の全収入

(内訳)

- ・ 私の収入800万円 (手取りで約600万※)

※約100万が社会保険料 (健康保険料、厚生年金保険料など)、残りの約100万が所得税+地方税

- ・ 妻の収入0万円 (専業主婦)
- ・ 売電収入8万円 (住宅購入時に太陽光パネル設置、経費除く)
- ・ 株式配当2万円 (長期保有が前提、配当利回りは約2%)

【支出の部】 約400万が我が家の平均支出額

(約370万 + 突発発生分)

(内訳)

- ・ ローン返済104万 (月7万 + 10万×2回/ボーナス)
- ・ 食費72万 (月6万、外食含む)
- ・ 食費以外60万 (月5万、生活雑貨・洋服代など)
- ・ 通信費18万 (月1.5万、携帯2台 + WiFi)
- ・ 車関係20万 (2台分、保険：月1万、ガソリン代：3万、税金：5万)
- ・ 保険関係18万 (医療・収入保障：月1.3万、火災保険：2万)
- ・ 個人年金24万 (夫婦2人分、月2万)

- ・ 固定資産税10万
- ・ 小遣い(私)36万（月3万、主に飲み代やゴルフ代に使用）

※貯蓄：毎年200万程度が貯蓄に回せる計算
（ローン返済、老後資金として）

2. 脱サラまでに実際にやったこと

お待たせしました。ここからが本編になります。

私が実際にやったことを

<会社>、<家庭>、<自分で稼ぐ>

の3つの視点で時系列に沿って書いていきます。

=====

退職1年6ヶ月前（2019年11月）

<家庭>

- ◆結婚記念日の翌日、「退職するかも」と妻に伝える（冒頭のエピソード）

退職1年5ヶ月前（2019年12月）

<会社>

- ◆（退職を微塵も感じさせず）課長業務に全力。残業、休日出勤あり

<家庭>

- ◆貯蓄額、生活費、ローン返済に関する試算を行う

⇒今の生活のままなら、200万/年以上の貯蓄が可能。50歳でローン完済見込み

⇒「すぐに辞めるのはもったいないかも」という気持ちになる

<自分で稼ぐ>

◆ビジネス系YouTuber動画を見まくる。

特に、イケハヤさん、マナブさん、鴨頭さん。

※いずれも脱サラした人

⇒特に成功までの期間に注目。

結果を出すまでに“少なくとも1年以上は必要”

であることを知る。

実際に家計の収支を計算してみると、毎年
200万以上が貯蓄できる状況だった。

会社も年功序列型なので、あと20年我慢して
働けば老後の心配もないだろう。

ただ、今後もそれなりに仕事をこなせたとしても、それは私にとって“後悔しか残らない”未来だった。

私の心に引っかかったのは

「これから20年以上会社に縛られ続けて、退職後に数千万を得る人生に何の意味があるのだろうか？」

ということであった。

さらに、産業構造の変化、コロナによるIT化へのシフトなど、今のままサラリーマンとして働

き続けるリスクも年々高まっていると感じて
いた。

40歳という区切りの年齢ということもあったが

「何のために生きるのか」

「どう働くか」

今まで蓋をしてきた問題について、真剣に考え
始めたのがこの頃。

退職1年4ヶ月前（2020年1月）

<家庭>

◆税金について、YouTube動画などで学び始め

る。

その中でも最も観たのは、大河内薫先生の『税金チャンネル』。

⇒税金や保険料などの支出を確認し、脱サラ後の生活費の計算に利用

<自分で稼ぐ>

◆『このまま今の会社においていいのか？と一度でも思ったら読む 転職の思考法(北野唯我著)』を読む。

⇒転職は考えていなかったが、タイトルに惹かれ、ポチった

⇒“組織に依存しない実力”という考え方が書かれており、「自分が脱サラしてもいい人間

か」を判断するのにすごく参考になった

- ◆以前からやっていた株式投資の運用額を増やす（30万⇒60万）

退職1年2ヶ月前（2020年3月）

<会社>

- ◆部下との年度末面談。2年間の自分の努力に手ごたえを感じず、ちょっと悲しくなる

課長になった私のモチベーションの柱は、部下の育成だった。

私自身、“向上心を持って仕事をしたい”という気持ち強いタイプで、入社以来、そういう気

持ちで仕事をしてきた。

だから、全ての部下に『向上心をもって仕事をしてほしい』と思っていた。

そして、2年間、課内会議や面談で色々な話をし
て意識改革を進めてきた。

課員に説明するための資料を徹夜で作ったり、
自分自身も多くの本などで学んだ。

しかし、

必ずしも全員が向上心を持つようになっていな
いことをこの面談で、改めて実感。変わらない
人は何を言っても変わらなかった。

むしろ、自分だけ空回りしているようにも感

じ、虚しくなっていた頃だった。

「働く目的は人それぞれ。それでいいじゃないか。」

そんな風に自分を納得させていたが、ふと心に引っかかるものがあった。

「じゃあ、自分はどうなんだ？ どう生きたいんだ？」と。

答えは明白だった。

「給料のためだけに、これからも我慢して、周りに合わせる人生は嫌だ」

「組織にいる限り、働く相手、環境を自分で選

ぶことはできない」

だから、もうサラリーマンは続けられない。

「脱サラしよう」、そう決意した瞬間だった。

退職1年1ヶ月前（2020年4月）

<会社>

◆新年度がスタート（課長3年目の年、40歳）

課長3年目ということもあり、部下へ“仕事を任せる宣言”をして定時で帰る日を増やした。

⇒もう会社には必要最低限の時間しか使わない

と決め、帰宅後は脱サラに向けた準備に注力。

<家庭>

◆昨年の11月以降、妻に退職の話はしていないが、会社の愚痴をよくこぼしていた。

⇒のちに、この愚痴が妻の“心の準備”につながっていたことを知る

◆このまま退職した場合の家計支出を試算

【貯蓄】現金1,500万＋退職金等で約500万

⇒2,000万

【支出】生活費約400万＋社会保険料等約200万

⇒600万/年

⇒住宅ローンを返済しつつ、3年間は無収入で暮らせる計算

<個人で稼ぐ>

◆引き続き、YouTube動画を観まくる。

特に個人で稼いでいる系の人の日常、作業量などを調査。すでに、自分の中で退職することを決めていたので、**残るは「何で稼ぐか」と「いつ辞めるか」だけだった。**

すでに新型コロナウイルスの感染が広がり、外出が厳しくなったことから、「何で稼ぐか」は“在宅でできるもの”を前提として、考えるようになっていた。**脱サラが前提だったため、転職は一切考えていなかった。**

退職11ヶ月前（2020年6月）

<会社>

◆（退職を微塵も感じさせず）課長業務に邁進。

⇒仕事は手を抜かないと決めていた。**ただし、自宅へのP Cの持ち帰りと休日出勤は一切やめた。**

<家庭>

◆改めて、妻に退職を決めたことを伝えた。

退職時期は「1年以内くらい」と少し曖昧に話した。

⇒何で稼ぐかは未定だったが「ブログとかで」とはぐらかす（汗）

◆ 『新版お金持ちになれる黄金の羽根の拾い方
知的人生設計のすすめ(橘玲著)』を読む

⇒サラリーマンを続けるリスクを再認識。 **判断
は間違っていなかった！**

<個人で稼ぐ>

◆ ビジネス系YouTuberの無料メルマガに登録。

⇒稼ぐ系のメルマガ登録は初。当時、勇気を振り絞ったのを覚えている。それくらい、当時の私には“ネット=怪しい”というイメージがあった。

◆ 100記事を目標に、無料ブログを開始。

⇒9記事目で挫折。反応も無い中、ただただ書き

続ける難しさを痛感。

退職10ヶ月前（2020年7月）

<個人で稼ぐ>

◆Twitterを始める。DM経由で数人とLINE電話。

◆ブログに関する情報商材を初めて購入。お値段、5,000円也。

⇒3万字越えという文章量に半分ほどで挫折（現在も変わらず未読）

結局、自分でやらないと始まらないということを知り、それを改めて思い知る。

今までYouTubeやブログをメインに情報収集を

していたが、

Twitterを始めたことで世界が一気に広がった。
ブログ以外にもいろいろな稼ぎ方があることを
知った。

退職9ヶ月前（2020年8月）

<個人で稼ぐ>

◆Twitterで知り合ったAさんとLINE通話。

Aさんのやっているネットビジネスの話を詳しく
聞く。

⇒自分の強みが生かせるビジネスモデルだと感
じ、

**「俺の求めていたものは、これだああああ
っ！」と興奮。**

※興奮した理由を少し補足

課長になって以降、顧客や現場の声を無視した
身勝手な上からの指示に
嫌気がさしていた。

私はどんなに自分が苦勞しても“顧客のために”
という仕事をしたかった。

そんな中、“怪しい”というイメージが強かった
ネットビジネスの話から

「ビジネスは価値提供。すなわち、顧客の悩み
の解決」

という言葉が聞こえてきたわけである。ビジネ

スの基本中の基本だが、正直、今の会社では聞いたことが無かった。

そして、自分のやりたいことと重なった気がした。

要するに、めっちゃ刺さった！

俄然、ネットビジネスに興味湧いていった。

退職8ヶ月前（2020年9月）

<個人で稼ぐ>

◆Aさん紹介のコミュニティとコンサル契約。

50万を支払う。

50万は（妻に内緒で）支払えるギリギリの金額だった。金額は高かったが、“早く稼げるように

なりたい”という気持ちで飛び込んだ。

「何で稼ぐか」を決めたことから、貯蓄の積み増しと年度の区切りを考え、退職時期を2021年4月末に決めた。

◆株式投資の運用額を増やす（60万⇒100万）

⇒当然ながら、100万程度の配当では生活できない

退職7ヶ月前（2020年10月）

<個人で稼ぐ>

◆コンサル開始1ヶ月目。毎日TwitterのフォローとDM送付の繰り返し

⇒昼休みは誰もいない会議室へ移動し、Twitter

一色となる

◆YouTubePremium(月額1,180円)に登録。広告を無くし、勉強を効率化。

動画をスマホに保存し、通勤や昼休みの時間も音声学習を始める。

退職6ヶ月前（2020年11月）

<家庭>

◆「4月末で退職する」と妻に伝え、妻の了解を得る。

※コンサル契約に50万を使ったことは当然内緒
(汗)

<個人で稼ぐ>

◆コンサル2ヶ月目。毎日TwitterのフォローとDM送付の繰り返し。

それでもフォロワーは1,000人を越えた。

⇒Twitterには慣れてきたが「顧客への価値提供ってどこに行った？」と日々の作業に違和感を持ち始める。「まだ始めたばかりだ」と自分に言い聞かせて、作業を継続。

退職4ヶ月前（2021年1月）

<会社>

◆年明け早々に上司に退職の意思を伝える。

⇒驚かれたが、強引な“ひき止め”もなく円満退職が決まる。最終日も希望通りの4月末となっ

た。

<個人で稼ぐ>

◆コンサル4ヶ月目。同じ作業の繰り返しで先が

見え無い状態。実際に稼げていないこともあ

り、言われた作業をやらなくなる。

さらに教えてもらっている人への不信感が

ら、私から音信不通となる。

退職3ヶ月前（2021年2月）

<会社>

◆後任の課長が決まり、職場に自身の退職を伝

える（3月末まで課長継続）

<個人で稼ぐ>

◆コンサル5ヶ月目。1円も稼げないまま、この
コンサルに見切りをつける

⇒それでもやめるわけにはいかないので、

Twitterを中心に自己流で情報収集を継続。

このコンサルでは収益は発生しなかったが、知識やツールなど、初心者の私にとって色々な学びがあり、決して無駄ではなかった。

退職まであと3ヶ月のタイミングで、肝心の「何で稼ぐか」を失った。

正直

「ヤ、ヤバいっ！！」

と思った。覚悟を決めて始めたはずなのに行動

が続かない。がむしゃらにやれない。

自己管理をしながら続ける大変さを身をもって知った。

予想以上にサラリーマンの働き方が染みついていたことにも気付いた。

ちなみに、私がこのコンサルをやめた理由は2つ。

※完全な“私目線”です。ダメだった理由をコンサルのせいに行っているわけではありません。

1つ目。信頼関係が築けなかった。

私自身、指示通りに十分な作業量をこなしていたわけではなかったが、疑問や不安点に対して

噛み合わず、納得のいく答えが得られなかった。徐々に質問がしにくくなり、信頼してついていけなくなっていた。

2つ目。自分の成長につながっている気がしなかった。

テクニックやノウハウも大事だと思うが、私はもっとビジネスの原理原則から学びたいという気持ちが強かった。

そこまでを期待して費用を支払っていたため、期待はずれ感があった。

さらに、一つ一つの作業が「顧客の価値提供」につながっているように感じなかったことも、私には大きかった。

**コンサル選びは、その人の理念や相性が大事だ
ということを学んだ。そして、コンサル以前に
「何が何でもやる」という自分の覚悟が重要。**

退職2ヶ月前（2021年3月）

<会社>

◆引き継ぎ、残務整理に全力投入。

※退職は社内連絡済み

<家庭>

◆妻から同居している義理の両親に、退職する
ことを伝えてもらった。

⇒私の両親（遠方）には伝えず。

<個人で稼ぐ>

◆Twitterで交流のあったBさんの紹介で**新たなコミュニティと契約。再び、50万を支払う。**

⇒**これで自己投資額は100万越え。**資金は自己所有株を売って確保。

新たなコミュニティとコンサル契約をした。

退職時期が近づく中で、少しでも稼げている状態を作っておきたかった。前回の反省を生かし、どういう形式のコンサルか、事前に詳しく聞いた。今回はアフィリエイトを行いながらビジネスを学んで行くという、スクール形式のコンサルだった。さらに、グループチャットで

コンサル生同士のコミュニケーションも可能と
のこと。

前回とは異なる形式のため、今回は自分に合う
のでは、と考えた。早く収入を得たいと焦って
いた私には“学びながら稼げる”という点がメリ
ットに感じられた。

退職1ヶ月前（2021年4月）

<会社>

◆最終入社日まで全力で働く

⇒その後、有給休暇消化期間があり、**晴れて脱**

サラ達成！

退職までの2ヶ月間は、会社や職場への感謝を込

めて一生懸命働いた。

（管理職なので残業代は出ないが）遅くまで残る日もあった。

出勤最終日、部長や同僚たちから感謝されて終わったのは素直に嬉しかった。

<個人で稼ぐ>

◆新コミュニティ2ヶ月目。結論から言うと、2ヶ月でやめた。

もっと慎重に判断すべきだったと反省。本当に焦りは禁物だと思った。結局、中身は一緒だった（少なくとも私にはそう感じられた）。

「作業しましょう」「結果を見て、考えましょ

う」の繰り返しで、

「なぜ、そうなるのか？」「最終的にどうなっていくのか？」については、十分な答えがもらえなかった。

「いつでも聞いてください」と言われるが、レスポンスが悪く、生徒数が多いせいか、先生側も一人一人に目が行き届いていないようだった。

収穫は「こういう稼ぎ方もあるのか」ということを知れたことくらい。

退職直後（2021年4月末）

この時点で、ネットビジネスからの収入は0。

少額でも稼げている状態が理想だったが、甘く

はなかった。自分自身の行動量の少なさは反省点。これは今後の課題。

100万以上を使って収益0だったが、この経験は無駄にはならないと感じた。1年前はTwitterもやったことが無かったし、ネットビジネスも怪しいとしか思っていなかった。

退路を断っていたことが、諦めない気持ちにつながり、結果的に良かった。

「振り返っても仕方がない。来月からまたがんばろう！」

と開き直すことにした。

有終の美とはいかなかったが、こんな感じで、私の17年と1ヶ月のサラリーマン生活が終わった。

おまけ～退職後から現在～

退職1ヶ月後（2021年5月）

<個人で稼ぐ>

◆新たなメンターとコンサル契約。脱サラ後の100%取り組める環境で、本格的にネットビジネスを開始。

退職2ヶ月後（2021年6月）

<個人で稼ぐ>

◆本格開始後1ヶ月でネットビジネスからの収入が約23,000円

⇒俗に言う『0⇒1（ゼロイチ）』を達成！

◆自分の商品を作って出品したら、1日で売れた！

⇒自分の商品が初めて売れた！これはマジで嬉しい！！

新たなメンターさんの下でしっかりと原理原則を学び、初めて、“会社から”ではなく、“個人で”収入を得ることができた。

金額は小さいが、大きな自信になった。そして、

「諦めずに続けてきて良かった！」と心の

底から思った。

これまでの自己投資や苦い経験も、私にとっては今の環境を得るために必要だったと思える
(ちょっと無計画に使い過ぎた点は反省)。

3. やったことまとめ&これから脱サラしたい人 へ向けて

私が脱サラするまでにやったことを振り返って、特に「これは大事」と思うことを、3つピックアップしました。

さらに、

<これから脱サラを考えている人向け押さえておきたいポイント> というチェックポイントもあわせて載せておきました。ぜひ、参考に見て下さい。

1)無収入でも不安なく生活できる期間を見積もった（手元の現金で考える）

⇒（私の場合）少なくとも3年は大丈夫だった

<私の前提条件・考え方>

- すぐに結果は出ない。理想は“無収入で2年以上暮らせる状態”
- 老後や将来のローン返済は無視。ここは“必ず稼ぐ”という覚悟で穴埋め
- いざとなったらコンビニバイトでも何でもやる（夫婦で）

<これから脱サラしたい人向け押さえておきたいポイント>

■脱サラありきなら無収入で生活できる期間は 最低1年確保

- ・足りないなら、今から節約・生活の見直しに
全力投球
- ・生活が苦しくなると夫婦喧嘩の火種になる
【気をつけて！】
- ・焦りから詐欺案件などに引っかかりやすくな
る【気をつけて！】

■サラリーマン生活の延長線上にあるものは全 て捨てる

例) 飲み会、付き合いや見栄に関するもの、
など

■ 本当に苦しくなった時のバックアップを想定 (心理的な安心が目的)

例) 個人年金や生命保険の解約金、親・兄弟に頼る、など

2) 人生の取捨選択を行なった

⇒ (私の場合) 人間関係は最小限に、学歴・経歴は全て捨てた

<私の前提条件・考え方>

- ネットビジネスに学歴や経歴、年齢は関係ない。
- 会社の人間関係は断捨離 (本当に付き合いたい人だけに絞る)

●脱サラ目的を何度も自問自答（あとで後悔しないように）

⇒私の目的：『妻といる時間を最大に』×『自分で選択できる人生』

●生活水準を徹底的に下げた（外食、洋服などの贅沢は捨てる）

⇒あくまで稼げるまでの話。ただし、食べ物は健康に配慮（体が資本）

<これから脱サラしたい人向け押さえておきたいポイント>

■自分の人生における、本当の優先順位を決める

・大事なものは人それぞれ。これが決まると迷

いが無くなる。

例) お金、時間、働きがい、家族、などのうち、自分の1位はどれか？

■ 優先順位の1位以外はバツサリ捨てる

⇒稼ぐまでの話だが、早く脱サラしたいなら“まず捨てる”

■ 世間体や親の言うことではなく、“あなた”自身で考え、判断する

⇒誰かに言われて揺らぐようなら、脱サラしない方が良くかも！？

3)未来はわからない。だから、自分を信じられるまで行動した

⇒（私の場合）行動する中で徐々に自信がついていった

<私の前提条件・考え方>

- 一生楽しんで続けられる仕事かどうかを、徹底的に自問自答

⇒“稼げる”より“やりたいこと”。好きこそものの上手なれ！

- 「行動し続ければ、必ず成果は出る」を信じる。絶対あきらめない。

⇒自分の経験が支えに。会社でも1年いれば大きく成長できた。

- 行動のための自己投資用の予算を確保（生活

費とは別)

⇒悩んで止まるならお金を払ってでも行動する。時間がもったいない。

<これから脱サラしたい人向け押さえておきたいポイント>

■稼げるものより、楽しんで続けられるものかで判断する（＝長期思考）

- ・お金のためだと長続きしない（短期集中は別）

■勉強代（＝自己投資費用）は必要だと認識しておく

- ・相場観でいうと、生活費とは別に100万以上あった方が良い
- ・無料情報は断片的（スーパーの試食と同じ）。体系的な情報は有料。

■周りは気にしない。正しい情報と継続があれば必ず稼げるを信じる

- ・特に“〇ヶ月で〇万円稼ぎました！”系の発信【焦りは禁物！】

■習うより慣れろ！

- ・“自分ならできる”というイメージができるまで、行動し続ける。
- ・実際にやってみると、自分に合う/合わないが

わかってくる。

【あなたに贈る魔法の言葉】

「やったら、できた！」

4. 最後に

正直なところ、私はまだ全然稼げていません。

周りから見れば、勢いで会社を辞めたように見

えるかもしれませんが、でも、実際は違います。

ここまで書いてきたように、たくさんの準備と

戦略と覚悟を持って、脱サラしました。

だから、今はまだ収入が少なくても経済的な不

安は一切感じていません。

妻の「会社辞めて、どうするの？」から始まっ

たこの1年半は、決して楽ではありませんでした。

今までの自分の人生を振り返り、「なぜ、

脱サラするのか？」を自問自答しました。

大学の学費以来の高額なお金も使い、

「本当にネットビジネスで稼いでいけるか？続けていけるか？」

ということについて、自分の本気度を確認しました。

妻とも色々な話をしました。こんなに話したのは結婚式の打ち合わせ以来かもしれません(笑)

「本当に今会社を辞めていいのか？」

「あと10年待ってもいいのではないか？」

こんな気持ちになることも何度もありました。

それでも、

やっぱり答えは変わりませんでした。

「自由な時間を手に入れる」

「自分で選択できる人生を手に入れる」

そして、

「リスクを取って始めるなら若いうちが良い」

「人生100年時代。41歳だってまだ若い。今からでも人生を変えられる。」

これが、

私が41歳で脱サラした目的であり、理由です。

ここで、脱サラ後の生活を少しだけお話してお

きます。今は土日に関係なく、ネットビジネスに多くの時間を割いています。でも、これは将来に向けた先行投資です。ズーっと続くわけではありません。

多くの人はこの先行投資（しかもお金ではなく行動・努力）ができなくて、今の会社に依存した生活に、“不満を抱えつつ”も抜け出せずになります。

ここだけ読めば「脱サラしても大変じゃないか！」と思うかもしれませんが、私にとっては全てが“幸せな時間”です。

なぜなら、

「自分で選択した人生」だからです。

決められた時間に出社する必要もありません。

一緒に居たくもない人と仕事をする必要もありません。

偉そうなだけで仕事をしない上司もベテラン社員もいません。

そして、妻も幸せそうです（これは本当にうれしい！！！！）

一緒に買い物に行き、一緒にご飯を食べ、一緒に晩酌をする、

そんな何気ない時間が当たり前にあります。

でも、会社が中心の生活では、自由に取ること

ができない時間でした。

妻はもう、眠くなりながら、私の帰りを待つ必要もなくなりました。

冷めた料理を温め直す必要もありません。

この記事を書いている今も、私たちは自由に幸せな毎日を送っています。

ネットビジネスに挑戦することも自分で選びました。

興味を持ち、自分の強みが生かせると判断し、“自分もできる”と信じました。

だから、大変さも含めて、毎日楽しんでやっています。勉強する時間も増えましたが、したら

しただけ成長が実感できますし、それがお客様の価値につながると思えば、苦にもなりません。むしろ、もっと学びたいと思えてきます。

今、私がやっているビジネスモデルはお客様の喜びの声を直接聞くことができます。

これも、個人で稼ぐ醍醐味です。

あなたもこんな人生を送りたいと思いませんか？

最後になります、

脱サラが簡単にできるとは言いません。

サラリーマン歴が長くなれば、収入もそれなりに高いでしょう。

特にお子さんがいると、その難易度は高くなると思います。

それはわかります。

私のことを「子供がいないから脱サラできたんでしょ？」と思われる人もいるかもしれませんが、私自身もまだ十分に稼げていませんから、スタートラインに立ったところです。

これからが勝負です。

それでもこれだけは言わせてください。

実際に脱サラした私だからこそ、言えることがあります。

今すぐに脱サラはできないかもしれません。

しかし、行動しない限り、その日が来ないこともまた事実です。

もしも、あなたが本当に「脱サラしたい」と思い、行動する覚悟があるなら、可能性は無限大です。私もそんなあなたを最大限応援します。

最後にあなたに質問です。

明日も今日と変わらない、不満や愚痴を口にするだけの、不満足な1日を迎えますか？

それとも、

今日、人生を変える一歩を踏み出しますか？

最後まで読んでいただきありがとうございました。

2021年6月

だーすー